

事務系女性職員研修が開催されました

7月18日、女性活躍推進法に基づき平成27年度末に策定・公表された本学の行動計画に基づき、人事課主催により女性管理職交流会(ランチ懇談会)が開催されました。当日は、事務系の女性管理職3名を含む8名が参加し、情報・意見交換が行われました。

また、8月22日には、上記行動計画に基づく取組として、人事課主催により事務系女性職員を対象としたキャリアデザイン研修が開催されました。研修では、総務部の三浦新部長による開会あいさつに続き、教育学部の松岡昌江事務長と教務課の石川真理課長がロールモデルとして講演されたほか、男女共同参画推進室専任担当教員の山下梓助教がファシリテーターとなり個人ワークとグループディスカッションが行われました。



休日勤務時の託児利用料補助事業について

本学職員の業務と育児の両立支援を目的として、休日勤務時の保育にかかる託児やベビーシッターを利用する際の費用の一部を補助する事業を試行的に実施します。一斉送信メールや各部局の総務グループをとおしてご案内し、男女共同参画推進室ウェブサイトでもお知らせのとおり、原則として、8月末日までに事前に利用登録を済ませた職員からの利用申請を受け付けます。(9月以降に産前産後休暇や育児休業から復帰する方や年度の途中で着任する方はこの限りではありません。)

積極的にご活用ください。

○休日勤務とは：休日に実施される大学入試センター試験や一般入試における業務、休日に開催する講演会等における講師や運営等の業務(本学主催事業に限る)、休日に命じられた出張を指します。

○利用料補助対象期間：平成29年9月1日～平成30年3月31日(予算額に達した段階で受付を終了する場合があります。)

対象・補助額・利用方法など詳しくは、一斉送信メールや男女共同参画推進室ウェブサイトに掲載の実施要項をご確認ください。

お知らせ 今後の事業について

北東北女性研究者 研究・交流フェア2017

北東北地域の女性研究者の研究シーズ発信や相互交流・ネットワーク構築の場を提供することにより、当該地域の女性研究者による研究活動の活性化を図ります。

○日時：平成29年9月15日(金)

12:30～16:30

○会場：ヒロコ3F イベントスペース・4F 市民文化交流館ホール

○主な内容：

第1部 共同研究紹介・発表、ポスターセッション

第2部 ロールモデル講演会
東京海洋大学海洋資源エネルギー学部

青山 千春 准教授
東北大学大学院環境科学研究所
松八重 一代 教授

研究リーダー力向上 支援セミナー

研究プロジェクトの円滑かつ高い効果を行う進行に必要なプロジェクトチームのクリエイティブコンフィデンス醸成の具体的方法やスキル(バックオフィスの研修など)について講義をいただきます。

○日時：平成29年12月15日(金)

14:20～15:50

○会場：50周年記念会館岩木ホール

○講師：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

富田 欣和 講師

男女共同参画推進室に関連図書があります。ご活用ください。

□「システムデザイン・マネジメントとは何か」
(慶應義塾大学大学院システムマネジメント研究科編 慶應義塾大学出版会)

□「システム×デザイン思考で世界を変える 慶應 SDM 「イノベーションのつくり方」(前野隆司編著 日経BP社)

シンポジウム 「北東北の創生とダイバーシティ(仮)」

女性研究者支援を含むダイバーシティ推進や男女共同参画の意義や連携のあるべき姿などについて考えます。佐藤敬学長もパネルディスカッションに登壇予定です。

○日時：平成30年1月10日(水)

13:30～16:00

○会場：岩手大学復興祈念銀河ホール

○主な内容：

特別講演 文部科学省

基調講演 「帝人におけるダイバーシティ推進の取組み(仮)」

帝人株式会社人事総務部
ダイバーシティ推進室長

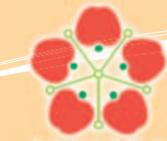
日高 乃里子 氏

事業報告

パネルディスカッション

2017年9月発行

弘前大学男女共同参画推進室



あomorい女性の
活躍応援宣言企業
平成29年2月に登録されました。

さんかくつうしん

Newsletter Vol.17

あomorいダイバーシティ研究環境推進ネットワークが設立されました

8月9日、あomorいダイバーシティ研究環境推進ネットワークが設立されました。このネットワークは、青森県内の大学、高等専門学校、研究機関等が連携して当該地域における女性研究者の研究活動支援等を行うことを目的とするもので、設立会議では、本ネットワークの規約と、本ネットワークが文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)に参加機関として参画することについて了承されました。

ネットワークでは、今後、女性研究者の研究活動支援や育成・裾野拡大やその取組にかかる課題共有、課題解決に向けた情報・意見交換、構成各機関が実施する事業にかかる情報提供と相互参加などを行ってまいります。



あomorいダイバーシティ研究環境推進ネットワーク 加入機関

弘前学院大学 東北女子大学 青森公立大学
青森中央学院大学 青森中央短期大学 八戸工業高等専門学校
八戸工業大学 八戸学院大学 八戸学院大学短期大学部
北里大学獣医学部 青森県産業技術センター
弘果総合研究開発株式会社 東北化学薬品株式会社
株式会社ラグノオささき 弘前大学

室員が交代しました

前副室長の転出に伴い、7月1日付けで男女共同参画推進室員がかわりました。副室長は藤崎浩幸教授(農学生命科学部)と三浦新総務部長の2人体制となり、総務・人事・財務企画課の各課長補佐にかわって人事・学生・研究推進課の各課長が室員となりました。最新の室員名簿は男女共同参画推進室ウェブサイトをご覧ください。

新副室長ごあいさつ



農学生命科学部 教授
藤崎 浩幸

専門は農村計画で、農村女性の社会参画に多少関心がありますが、男女共同参画は門外漢です。ご縁あって副室長を拝命しましたので、好奇心持って職務を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。



総務部長
三浦 新

今春、総務部長に着任しました三浦新と申します。このたびは、適役ではないと思ながらも、副室長という重責を担うこととなりました。弘前大学が地域と共にある大学として、男女が共にワーク・ライフ・バランスを実現し、働きがいのある大学を目指して、微力ながら尽力して参りたいと思います。

男女共同参画トップセミナーを開催しました

5月22日に50周年記念会館において、「男女共同参画トップセミナー」を開催しました。このセミナーは、文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)の事業の一環として、管理職を対象に女性教員の採用・昇任等をはじめとするダイバーシティ研究環境推進に関する意識啓発を図る目的から実施したものです。

講師には、岩手大学理工学部長の船崎健一先生(写真)をお招きし、「ダイバーシティ教育研究環境の基盤づくりとしてのポジティブ・アクションー岩手大学の実践から」と題して岩手大学における女性教員の採用や上位職登用等のポジティブアクション方策及び成果・課題等について実践を踏まえてご講演をいただきました。

当日は学長や理事、部局長、補助事業連携機関関係者を含む44名が参加し、「ポジティブアクションの意味が理解できた」や「One-Up公募制度とスタートアップ経費は、本学としても非常に参考になる」、「事務系職員ですが、今後の職員採用に向けて多様な人材確保が急務であり、参考にさせていただけると感じた」などの感想が寄せられました。

なお、セミナーの動画を学内限定で公開しています。ぜひご覧ください。

<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/4936.html>



平成29年度共同研究支援採択課題が決定されました

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の事業の一環として実施する共同研究支援の採択課題が決定されました。

共同研究支援は、連携機関である本学と岩手大学(代表機関)、八戸工業高等専門学校、一関工業高等専門学校、農研機構東北農業研究センター及び株式会社ミクニの女性研究者による共同研究を支援することにより、連携機関、ひいては北東北における女性研究者の研究力・リーダー力・マネジメント力の向上を図り、上位職登用の促進につなげるとともに、当該領域・分野の研究の深化に寄与することを目的としたものです。

今年度は、6機関の21課題が採択され、うち本学の女性研究者を代表とする課題は5件(下記)、本学・他大学の研究者を代表とする課題に共同研究者として参画する本学研究者はのべ19名です。

研究課題	研究代表者	共同研究者
女性雑誌に見る女性のライフコースの再生産(継続)	出 佳奈子(教育学部)	渡瀬 典子(岩手大学) 李 秀真(弘前大学)
血管内皮細胞を用いた動脈硬化抑制機能を有するフィトケミカルの探索(新規)	堀江 香代(保健学研究科)	山本 歩(八戸工業高等専門学校) 川口 恵未(八戸工業高等専門学校) 七島 直樹(弘前大学) 前多 隼人(弘前大学)
カシスに含まれる新規機能性成分の探索(継続)	柿崎 育子(医学研究科)	佐藤 久美子(八戸工業高等専門学校) 川口 恵未(八戸工業高等専門学校) 山本 歩(八戸工業高等専門学校) 島田 透(弘前大学)
線虫ROP-1/Y RNP形成とストレス耐性(継続)	牛田 千里(農学生命科学部)	芝 陽子(岩手大学) 若林 篤光(岩手大学) 姫野 依太(弘前大学) 栗田 大輔(弘前大学)
植物における細胞分裂軸の制御機構(継続)	笹部 美知子(農学生命科学部)	渡邊 悦子(岩手大学) 上村 松生(岩手大学)

理系女子のための進路相談会を開催しました

8月8日、オープンキャンパスに合わせて「女子学生による理系女子のための進路相談会」を開催しました。本学の理工学部、農学生命科学部、教育学部の女子学生14名が、理系進学を考えている女子高校生の受験勉強、キャンパスライフなどの相談に应对し、今年は54名(女子高生49人、保護者4人、引率者1人)が来場しました。

来場者アンケート(回答数51)では、「参考になった」50、「まあまあ参考になった」1と大変好評でした。「理系か文系迷っていたけれど、話を聞いて理系に進んでみたいと思いました」「やさしくおしえてくれたり、おもしろい話をしてくれたりして、とても楽しかった。理工だけでなく、他の学部のことでもわしく知れてとてもいい機会でした」等の感想が多く寄せられました。



さんかくカフェ 第1回 さんかくカフェを開催しました

7月20日(木)に、平成29年度第1回さんかくカフェを学生会館2Fスクーラムで開催しました。

今年度1回目の「さんかくカフェ」は、「性別やライフステージに関わらず働きやすく学びやすいこれからの弘大～子育て・介護中の両立支援策～」をテーマに、昨年度改正された子育て・介護に関する本学の休暇・休業制度について人事課担当者から説明してもらうとともに、平成28年度に子育て・介護中の研究者支援制度を利用した教員から効果や課題などについて話題提供をいただき、その後、子育て・介護中の両立支援策として望むことなどについて参加者間で情報・意見交換が行われました。

参加者からは休暇・休業制度に関する人事課からの説明により「新たな情報を得ることができた」と評価する声や研究者支援制度を利用した教員の話題提供について「体験に基づく具体的なものでとても良かった」、懇談の時間に「今の制度の限界についても討議でき、問題意識を高めることができた」等の感想が寄せられました。



人事課担当者による休暇・休業制度の説明に聞き入る参加者

次回のお知らせ 第2回さんかくカフェ

- 日 時：11月7日(火) 17:00～18:00
- 会 場：医学部附属病院 看護部研修室
- テーマ：性別やライフステージに関わらず働きやすく学びやすいこれからの弘大～ワーク・ライフ・バランスとキャリア形成～

hirosaki smart projectに参画しています

弘前大学は、昨年度に参画した「hirosaki smart project」に本年度も引き続き参画しています。hirosaki smart projectは、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、弘前市と損保ジャパン日本興亜株式会社を中心となり連携・協力して弘前市内の女性活躍推進を図る目的から設立された異業種交流会事業の総称です。本年度は、本学を含めて、市内に拠点を置く企業・団体など20機関が「参加企業」として参画、6月21日には弘前市市民参画センターで第1回交流会が開催されました。

本学では、事務系女性職員5名を業務の一環として来年2月の交流会まで派遣することが決まっています。9月に開催される第2回交流会は、本学が幹事機関として企画や運営を担当する予定です。

「実験ガールズ」が開催されました



7月22日、青森市男女共同参画プラザ(カダール)で「実験ガールズ in Summer!! 2017」が開催されました。この事業は、カダールの主催、本学男女共同参画推進室と教育学部の協力により、理科実験の楽しさを体験するきっかけの場を提供することで理系女子の裾野拡大を図ることを目的に開催されたものです。地域の女子小中学生9名が参加しました。本学の女子学生が講師として実験を行ったほか、会場では本学女性研究者の研究ポスターも展示され、地域の小中学生や保護者にご覧いただきました。